

令和4年度の森林環境譲与税の用途について

南国市農林水産課

1 森林環境譲与税の活用効果

(1) 意向調査、境界明確化の実施

森林所有者26人 63.04haの森林について意向調査を実施。また、来年度実施の意向調査の選定を行った。意向調査を実施した森林（1団地、45.0ha）に対し、境界の明確化を実施した。境界明確化を実施した森林については今後間伐等の森林整備を計画的に進めていく。

(2) 公共施設における木製の机、椅子等の導入

市の建設した地域交流センターへ県産材（主に市有林の間伐材）にて製作したイス、机等を導入し、地域材の普及啓発を図ることができた。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	22,252
運用益	0
計	22,252

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R4森林環境譲与税	他の財源		
森林環境整備事業（報酬、職員手当 郵送料等）	9,679	9,679		意向調査対象森林の所有者や相続人調査準備 林地台帳システムに係る情報整理、その他森林環境譲与税活用事業に関する業務	会計年度任用職員（1名）の件費 意向調査等に係る事務費 境界の明確化を民間事業者に委託
森林環境整備事業（備品購入）	995	995		地域交流センターへ県産材（主に市有林の間伐材）にて製作したイス、机等を導入し、地域材の普及啓発を図る。	イス・テーブル等 15個 木材使用量 0.53m ³ （製品時使用量）
森林環境譲与税基金積立金	11,578	11,578		次年度以降の森林整備等に必要な財源として基金への積み立て	
計	22,252	22,252			